

## 核物質防護に関する不適合情報

2026年4月13日(月)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。  
<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/deviation/pp/pdf/policy.pdf>

- 1. 公表区分Ⅰ            0件
- 2. 公表区分Ⅱ           0件
- 3. 公表区分Ⅲ           4件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	柏崎刈羽原子力発電所における核物質防護検査において、原子力規制庁の検査官より、核物質防護に係る一部の監視設備の電源構成について指摘を受けた。 水平展開として調査した結果、同様の状況であることを確認した。 原因として、安全とセキュリティの両面で監視していたが、管理箇所がセキュリティ部署ではなかったため、電源構成の見直しが必要だと認識していなかった。 対策として、カメラを追設すると共に、電源構成の見直しを実施した。 なお、対策が完了するまでの期間における監視機能は維持されていた。 当該エリアへの入域者へ対する必要な点検も実施されており、妨害破壊行為等の異常は確認されなかった。	2021/12/21	
2	核物質防護に関する計画について、マニュアル通りに承認を得ていなかったことを確認した。 調査の結果、当該計画については社内会議に付議し了承をされたものであり、同会議には承認者の職位である者も出席していたが、文書化されたものについて承認を得ていなかったものであった。 再発防止策として、作業時のチェックリストを作成し、承認者を明確に記載した。	2025/3/31	
3	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、手続き上の不備であったことから、正常な状態に復旧した。 対策が完了するまでの期間において、妨害破壊行為等の異常は確認されなかった。	2025/6/16	
4	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、作業上の不備であったことから、手順書を修正の上、当該機器を正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2025/10/7	

### 4. 公表区分その他      20件

NO.	不適合内容	発見日	備考
1	監視装置の録画機能が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は維持されていた。	2023/5/25	
2		2024/8/23	
3		2024/11/25	
4		2024/11/25	
5		2025/2/6	
6		2025/2/13	
7		2025/2/15	
8		2025/5/20	

9	監視装置の録画機能が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は維持されていた。	2023/10/17	
10	核物質防護上の扉が施錠されていないことを確認したため、施錠を行った。 調査の結果、扉を閉めた後の施錠確認が不足していたことから、施錠ルールの明確化を図るとともに関係者に改めて基本動作の徹底および電気錠を導入し、再発防止を図った。 なお、未施錠期間中に不法行為等は確認されなかった。	2024/7/31	
11		2024/12/2	
12		2025/2/26	
13		2025/5/27	
14		2025/6/12	
15	核物質防護上の扉が施錠されていないことを確認したため、施錠を行った。 調査の結果、扉を閉めた後の施錠確認が不足していたことから、電気錠導入後の施錠ルールの明確化を図るとともに関係者に改めて基本動作の徹底および施錠ルールの再教育を実施した。 なお、未施錠期間中に不法行為等は確認されなかった。	2026/1/8	
16		2025/8/26	
17	侵入検知器の付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の侵入検知機能は維持されていた。	2024/8/5	
18	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、濃霧の影響の可能性が高かったことから、一定期間観察を実施したが、同様事象は発生しなかった。 なお、上記事象発生中の侵入検知機能は、代替措置にて維持した。	2025/12/25	
19	協力企業作業員が入域しようとした際、入域区分誤りで入域異常が確認された。 調査の結果、入域者情報の更新時に、誤った方法で更新作業をしていた。 対策として、手順書を適切な記載内容に修正し、更新作業を行った。 なお、不法行為等は確認されなかった。	2026/1/22	
20	監視カメラの映像が、正常に映っていないことに気づくことが遅れていたことを確認した。 調査の結果、映像確認手順に不足があったことから、再発防止策として、映像確認手順の見直しおよび関係者への周知を実施した。 設備については不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は維持されていた。	2026/2/15	